

## 月 別 市 況

1 月

1月の取扱頭数は、牛10,065.5頭、豚35,179.5頭で1日平均取扱は、牛457.5頭（前月比84.7%）、豚1,599頭（84.7%）であった。

年末在庫を抱えて買控えられ、荷動き賑るわず牛豚とも入荷減少。

相場は和牛、乳牛ともに反落。豚白上物421円（前月比9円高）保合。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,105円、乳牛（B-3）1,114円であった。

豚の取引は全国出荷頭数169万3千800頭、1日平均7万7千頭で前月比3%減少。

相場は強保合。

輸入牛肉は、1,975.6トンが上場され、79%が成立。

相場は上押。

3 月

3月の取扱頭数は、牛10,966頭、豚35,932.5頭で1日平均取扱は牛457頭（前月比100.1%）、豚1,497頭（96.1%）であった。

湾岸戦争の終了から品動きの出た牛は荷動き順調、豚は品薄気味で入荷低調。

相場は和牛上押、乳牛強保合。豚白上物476円（前月比8円高）強保合。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,201円、乳牛（B-3）1,173円であった。

豚の取引は全国出荷頭数166万8千500頭で、1日平均6万9千500頭と前月比5.9%減。

相場は強保合。

輸入牛肉は輸入割当制度最後の委託で1,961トンが上場され、落札率は68%が成立。

相場は弱含。

5 月

5月の取扱頭数は、牛11,073.5頭、豚32,690.5頭で1日平均取扱は牛481頭（前月比100.8%）、豚1,421頭（97%）であった。

ゴールデンウィーク明けの在庫手当も順調で、入荷は牛豚共に横遣い。

相場は和牛下押、乳牛上押。豚白上物は596円（前月比54円高）と統騰。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,171円、乳牛（B-3）1,100円であった。

豚の取引は全国出荷頭数163万1千頭で、1日平均7万913頭と前月に比べ0.5%増加。

相場は統騰。

輸入牛肉は、取扱量771トン（前月比66%）で、落札率は40%。

相場は全般に低調。

2 月

2月の取扱頭数は牛10,044.5頭、豚34,249頭で1日平均取扱頭数は、牛456.5頭（前月比99.8%）、豚1,557頭（97.4%）であった。

暖冬と湾岸戦争の影響からか、牛豚入荷低調。

相場は和牛乳牛ともに弱保合。豚白上物468円（前月比47円高）と上伸。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,120円、乳牛（B-3）1,093円であった。

豚の取引は全国出荷頭数160万8千400頭で、1日平均7万3千100頭で前月比5.1%減。

相場は上押。

輸入牛肉は、1,972.9トンが上場され、落札率83.4%が落札。

相場は弱含。

4 月

4月の取扱頭数は、牛11,471頭、豚34,163頭で1日平均取扱は、牛477頭（前月比104.3%）、豚1,465頭（97.8%）であった。

輸入牛肉の自由化で心配された入荷も順調で、和牛乳牛ともに上伸、豚は弱含。

相場は和牛上伸、乳牛反落。豚白上物は542円（前月比66円高）であった。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,223円、乳牛（B-3）1,074円であった。

豚の取引は全国出荷頭数169万2千700頭で、1日平均7万500頭と前月に比べ1.4%増。

相場は統伸。

輸入牛肉は自由化後初のセリで注目の中、1,058トンが上場され、落札率は62.3%が成立。

相場は全般に低調な模様ながめで下押。

6 月

6月の取扱頭数は牛10,405.5頭、豚29,660.5頭で、1日平均の取扱頭数は牛433.5頭（前月比90.1%）、豚1,235頭（90.0%）であった。

気候がよくなるにつれて安定するかにみえた入荷量は全国出荷の減少に比例して、牛豚ともに減少。

相場は和牛下押、乳牛反落。豚白上物は620円（前月比24円高）統伸。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,017円、乳牛（B-3）968円であった。

豚の取引は全国出荷頭数145万6千頭で、1日平均6万700頭と前月に比べ15%減少。

相場は統伸。

輸入牛肉は取扱量770トン（前月比99.8%）、そのうちセリ取扱量は577.5トン。

相場は弱含み。

7 月

7月の取扱頭数は牛12,509頭、豚32,722.5頭で、1日平均取扱は牛481頭（前月比111.0%）、豚1,260頭（102.0%）であった。

空梅雨ですむかと思われた今年の梅雨も終わりがけに降って、明けると真夏の暑さに見舞われたが、お中元需要もあって牛、豚入荷増。相場は和牛乳牛上押。豚白上物は633円（前月比13円高）上押。牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,157円、乳牛（B-3）1,013円であった。

豚の取引は全国出荷頭数155万2千800頭で、1日平均5万9千700頭と前月に比べ2.0%減少。

相場は高値安定。

輸入牛肉は取扱量1,372トン（前月比178.2%）、そのうちセリ取扱量は946.6トン。

相場は弱含。

9 月

9月の取扱頭数は、牛10,599.5頭、豚30,613頭で、1日平均取扱頭数は牛482頭（前月比109.0%）、豚1,391頭（110.8%）であった。度重なる台風と長雨にたたられた9月ではあったが、入荷は牛、豚ともに順調で前月比10%増。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,203円、乳牛（B-3）1,025円であった。

豚の全国出荷頭数158万3千頭で、1日平均7万1千950頭と、前月比12.9%増加。

相場は統落。

輸入牛肉は取扱量1,686トン（前月比90.3%）、そのうちセリ取扱量は1,112トンであった。

相場は弱含。

11 月

11月の取扱頭数は、牛12,436.5頭、豚35,109頭で1日平均取扱は牛541頭（前月比107.1%）、豚1,526頭（100.0%）であった。

需要期に入っても暖冬の気配が強く、鍋物の出足は鈍いが、入荷は牛豚ともに順調。

相場は和牛強保合、乳牛保合。豚白上物411円（前月比9円安）と安保合。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,267円、乳牛（B-3）1,008円であった。

豚の取引は全国出荷頭数176万3千頭で、1日平均7万6千650頭、前月比4.3%増加。

相場は安保合。

輸入牛肉は、取扱量1,753トン（前月比78.1%）、そのうちセリ取扱量は1,453トンであった。

相場は弱含み。

8 月

8月の取扱頭数は10,618.5頭、豚30,137.5頭で、1日平均取扱は牛442頭（前月比91.8%）、豚1,255頭（99.6%）であった。

夏休みとお盆の帰省で需要の減る時期ではあったが入荷は牛、豚ともまずまずと堅調。

相場は和牛、乳牛統伸。豚白上物が565円（前月比68円安）反落。牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,168円、乳牛（B-3）1,110円であった。

豚の取引は全国出荷頭数153万頭で、1日平均6万3千700頭と前月比6.7%増加。

相場は弱含。

輸入牛肉は取扱量1,867.7トン（前月比136.1%）、そのうちセリ取扱量は1,251.3トン。

相場は弱含。

10 月

10月の取扱頭数は、牛12,619.5頭、豚38,130頭で、1日平均取扱は牛504頭（前月比104.6%）、豚1,525頭（109.6%）であった。

秋の消費シーズンに向かって牛、豚とも入荷は順調。

相場は和牛強保合、乳牛弱含。豚白上物420円（前月比66円安）と統落。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,216円、乳牛（B-3）1,054円であった。

豚の取引は全国出荷頭数183万7千頭で、1日平均7万3千480頭と前月比2.1%増加。

相場は統落。

輸入牛肉は、取扱量2,243トン（前月比133%）、そのうちセリ取扱量は1,705トンであった。

相場は保合。

12 月

12月の取扱数は牛13,825.5頭、豚36,594.5頭、1日平均取扱は牛576頭（前月比106.5%）、豚1,525頭（99.9%）であった。

暖冬ではあったが年末需要に支えられ、牛豚とも入荷は順調。

相場は和牛、乳牛とも上押。豚白上物495円（前月比84円高）と反発。

牛枝肉の月間平均価格は和牛（A-4）2,326円、乳牛（B-3）1,025円であった。

豚の取引は全国出荷頭数180万9千頭で、1日平均7万5千300頭。前月比2.0%減少。

相場は反発して高騰。

輸入牛肉は、取扱量1,309トン（前月比74.7%）、そのうちセリ取扱量は1,044トンであった。

相場は弱含。